

読書の秋



生野高等学校図書室
令和7年11月20日発行

読書の秋到来！少しずつ涼くなり、温かい
飲み物を片手にゆったりと本を開きたくなる季節ですね。
皆さんに、バリエーション豊かな秋にピッタリの本をジャンル別に紹介します。

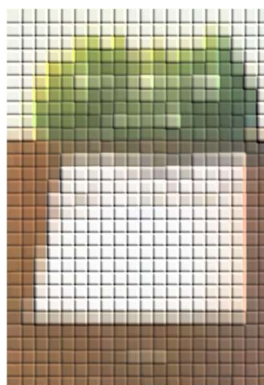
〔芸術の秋〕感性を刺激する物語。

タイトル：羊と鋼の森

著者：宮下奈都

紹介

本屋大賞受賞作！ピアノの調律という繊細な世界に
魅せられた高校生、音と向き合い、成長していく物語。
芸術の秋に、五感を研ぎ澄ませる体験も。
心の奥深くまで響く文章が魅力です。



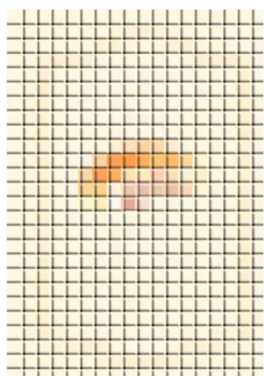
〔食欲の秋〕バリエーション豊かなグルメ小説

タイトル：こんな日は喫茶ドードで雨宿り。

著者：標野風

紹介

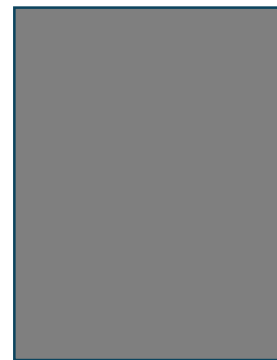
頑張り屋のあなたへ贈る、おひさま専用のカフェの物語。
バリエーション豊かな月に訪れる、もじゃもじゃ頭の店主さんにとって
おきの料理でいやすしてくれます。
読めばきっと、優しい気持ちになる一冊です。



『変な家』 作・雨穴

あなたは、今住んでいる家に違和感を感じたことはありますか。大半の人は「無い」と答えるでしょう。この物語は、一軒の家の間取りに潜んでいる違和感を探ることから始まります。その違和感はやがて、一つの結末に結びつきます。

読み手を引きつけるような内容・表現は、めったに読書をしない私の興味を引き出しました。そんな小説「変な家」は、図書室に一冊だけ置かれています。見つけた際は、ぜひ手に取ってみてください。



秋になるとなぜ葉が紅葉するのか？



それは気温が低くなり、太陽光が弱まると、葉の色素（クロロフィル）が分解されるためです。季節が変わり気温も低く寒くなってきています。防寒着を着るなどして寒さ対策をしっかりしていきましょう。

生野高校の中庭もきれいに紅葉しています。ぜひ足を止めて見てください！



図書担当より

1年生図書委員がそれぞれの文章を考えてくれました。「なにか本が読んでみたいな」「おもしろい本、あるかな」と思ったときは、ぜひ図書室を訪れてください！

図書担当の山本が最近読んで、面白かった3冊を紹介します。

「わたしたちが光の速さで進めないなら」（キム・チョヨプ著・ハヤカワ文庫）

※「僕には鳥の言葉がわかる」（鈴木俊貴著・小学館）

「対馬の海に沈む」（窪田新之助著・集英社）

※はまもなく図書室に入る予定です。あなたのお気に入りの3冊も、ぜひ教えてください！

